

あらかじめ、
幸せだったらいいな。

幸せ度
いちばん
福井県

資料NO. 5

平成29年度当初予算案

(平成28年度2月補正予算案を含む)

マスコットユニット
Dinoはびねす
福井しあわせ元気国体  福井しあわせ元気大会



平成29年度当初予算編成の重点ポイント

『 東西南北の交流促進 』

北陸新幹線の敦賀開業や小浜京都ルート決定、中部縦貫自動車道永平寺大野道路の開通などにより本県を取り巻く交流環境は大きく変化する。

今後、東西南北の4つのゲートをオープン化し、既存の人口減少対策にとどまることなく、県外や海外にも目を向けた交流新時代の実現を図る。

(4つのゲート)

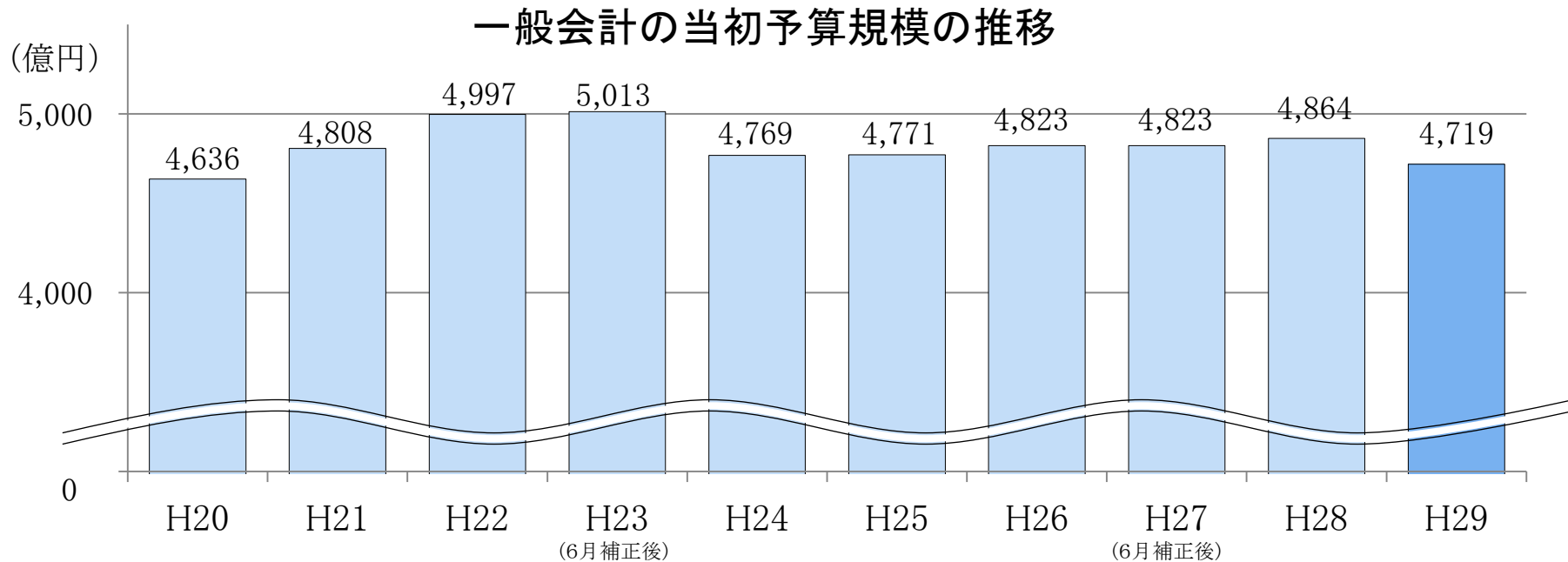
- ・ 東：大野・勝山から岐阜など中京へ
- ・ 西：小浜（若狭）から京都など関西へ
- ・ 南：敦賀から滋賀など中京・関西へ
- ・ 北：あわら・坂井から石川など北陸・関東へ

- 1 高速交通体系の整備
- 2 定住人口、交流人口の拡大
- 3 魅力発信の強化

平成29年度当初予算案の規模

◎ 一般会計の予算規模 4,719億円 (対前年度比3.0%減)

会計	29年度 当初予算案 (億円)①	28年度 当初予算 (億円)②	伸び率 (%) ①/②
一般会計	4,719	4,864	△3.0
特別会計	181	151	20.1
企業会計	362	369	△1.9
計	5,262	5,384	△2.3



北陸新幹線建設事業（17,424百万円）【主要事業P49】

○金沢・敦賀間の平成34年度末完成・開業を目指し、鉄道・運輸機構が高架橋等の工事を促進



【福井高柳高架橋工事】



【九頭竜川橋りょう工事】



【新北陸トンネル工事(奥野々工区)】

＜平成29年度の事業概要＞

- ・事業費 134,000百万円（うち福井県内 87,120百万円）
- ・主な内容 県内全域の高架橋工事（福井高柳高架橋など）
橋りょう工事（九頭竜川橋りょうなど）
トンネル工事（新北陸トンネルなど）

中部縦貫自動車道整備事業 (2,748百万円) 【主要事業P50】

○県内区間の早期全線開通を目指し、大野油坂道路のトンネル工事などを推進



【永平寺IC付近(永平寺町谷口)】



【大野東IC(仮称)付近(大野市蕨生)】



【荒島第1トンネル(仮称)付近
(大野市西勝原)】

<平成29年度の事業概要>

・事業費 11,261百万円

・主な内容 永平寺大野道路

永平寺～上志比間

付替道路工事

大野油坂道路

大野～大野東間

調査・設計

大野東～和泉間

トンネル工事(荒島第1トンネル(仮称)など)

和泉～油坂間

用地買収、道路改良工事

高速交通開通アクション・プログラム・ステップアップ事業（4百万円）【主要事業P49】

○高速交通基盤の整備進展

- ・北陸新幹線敦賀開業、小浜京都ルートへの決定
- ・中部縦貫自動車道永平寺大野道路の開通 等

○本県を取り巻く交流環境は新たな時代へ

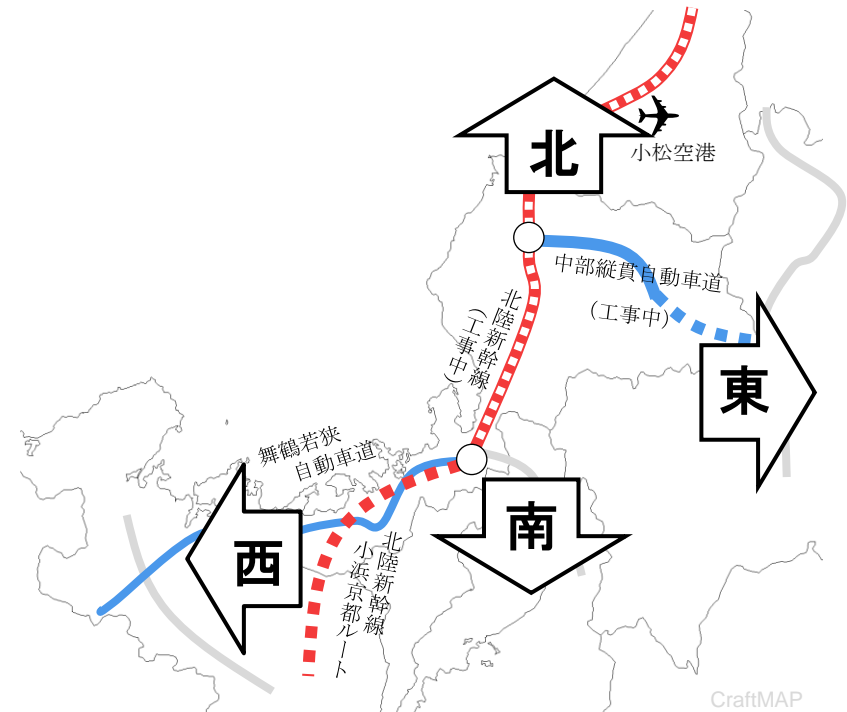
- ・東西南北のオープンゲートを通じた人の行き来を活発化することにより、定住人口、交流人口を拡大

東：大野・勝山から中京へ

西：小浜（若狭）から関西へ

南：敦賀から中京・関西へ

北：あわら・坂井から北陸・関東へ



人の誘致・交流促進

- ・隣接県との知事懇談会に加え、様々な分野の有識者との交流ミーティングを開催

高速交通開通アクション・プログラムの拡充

- ・アクション・プログラムの基本戦略を見直し
- ・若狭湾エリアの新たな地域構想とプロジェクトを検討

ふくいワークキャンプ推進事業（36百万円）【主要事業P7】

○都市部の学生が一定期間県内に滞在し、県内企業の新商品開発への参加やアルバイトを行いながら地域住民と交流することにより、将来の移住を促進

経営参画インターン

【対象者】

起業マインドを持った都市部の学生

【受入先】

若者のアイデアや行動力を求める企業等

【内 容】

学生が新商品の開発や新事業の企画に参加

東京大学のフィールドスタディ型
政策協働プログラムと協働



(新商品企画会議)

【期 間】

約1ヶ月間（夏休み・春休み）

福井版ワーキングホリデー

【対象者】

地方の暮らしに興味がある都市部の学生

【受入先】

地域の活性化につながる事業を行う企業等

【内 容】

アルバイトとして働きながら地域交流活動に参加



(農作業体験)



(祭りへの参加)

【期 間】

2～4週間（夏休み・春休み）

30歳の成人式開催支援事業（4百万円）【主要事業P7】

- 30歳を契機に、県内外に住む福井の若者が集まり、地域づくりを考える交流会を開催することにより、若者のつながりを創出し、地域活動への参加を促進

【若者グループへの補助制度を創設】

補助対象	補助率	補助上限額	開催場所
30歳の成人式を開催する若者グループ	1/2	1,000 ^{千円}	福井・坂井、奥越、丹南、嶺南の各地区を想定

開催例

第1部：地域を考えるワークショップ

- ・まちづくり実践者による講演
- ・県内でユニークな活動をしている若者グループの活動紹介
- ・地域の魅力を光らせるアイデアを議論



第2部：交流会

- ・地元の話題を盛り込んだクイズ企画
- ・フリートーク
- ・写真撮影 など

Uターン相談会、起業相談会

幸福ふくいロングステイ推進事業(12百万円)【主要事業P3】

○生活拠点以外の地域に中長期滞在するロングステイヤーを受け入れ、二地域居住や将来の移住を促進

エンジョイステイアカデミーの開催

首都圏においてふくいを知る講座(座学)を開催し、福井への関心を高め、福井滞在を体験する体感エンジョイステイを実施

(体感エンジョイステイの例)

期 間 2泊3日

内 容 移住体験施設に宿泊しアクティビティを体験

農と海のある生活コース

美浜町：農業体験 + 越前町：スキューバー



【受入体験施設(イメージ)】

ゆったりステイの受入れ

実際に県内のモデル地区にロングステイヤーを受け入れ、地域住民との交流を促進(10日～1か月程度の滞在)

受入主体 市町が主体となって設置する協議会

実施内容 受入環境の整備

ロングステイヤーを支援する専門家の派遣 など

(県からモデル地区の協議会へ補助：150万円/地区)

交流人口増加
地域の活性化

小松空港国際定期路線開拓推進事業（4百万円）【主要事業P47】

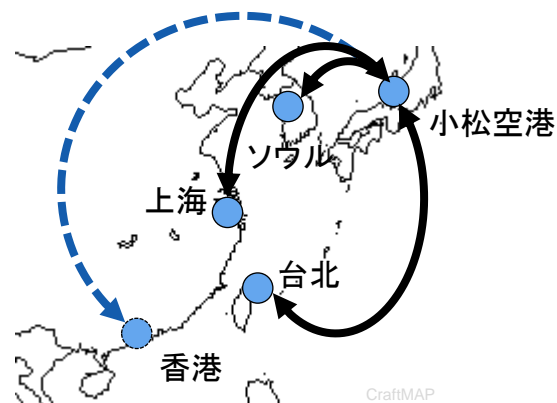
○石川県と協力し、小松空港の両県による利用（アウトバウンド）と外国人観光客の誘客（インバウンド）の拡大を図ることにより、国際線の定期路線開拓を後押し

アウトバウンド対策

- ・ 電車中吊り広告、ラジオCM等によるプロモーション
- ・ 小松空港の国際線を利用して経済、文化、スポーツなどにより国際交流事業を行う県内団体への補助金を新設
1人当たり5千円（1団体10万円を上限）

インバウンド対策

- ・ 石川県と協力し、福井、石川両県の観光地等の魅力を香港メディアを通してPR
- ・ 香港、シンガポール、台湾における福井の食のPR（アジア市場への食輸出拡大事業）



【福井の食のPR】

海外クルーズ客船おもてなし事業（15百万円）【主要事業P51】

○海外クルーズ客船の初寄港に向けて、寄港時に福井県ならではの歓送迎やおもてなしを実施

<実施内容>

- ・入港記念式典の実施
- ・観光案内・物販ブースの設置
- ・芸能披露や伝統工芸体験、食の振る舞い
- ・岸壁での保安対策
- ・寄港時に必要となる経費の一部を助成



【ダイヤモンド・プリンセス寄港時の様子】



【ダイヤモンド・プリンセス】

<敦賀港に寄港する海外クルーズ客船>

ダイヤモンド・プリンセス

- ・総トン数：115,875トン
- ・全長：290m
- ・乗客定員：2,706名
- ・運航会社：プリンセス・クルーズ社

<寄港日>

平成29年9月2日（土）、10月14日（土）

国際ビジネス人材育成支援事業（5百万円）【主要事業P32】

○フィンドレー市・大学と協力し、県内企業の若手社員向け研修を開催することにより、国際ビジネス人材を育成

研修対象者

- ・ 30歳代前後の若手社員
- ・ 企業の後継者
- ・ 幹部候補者 など

派遣

フィンドレー大学

【研修内容】

- ・ 英語のビジネスコミュニケーション能力向上
- ・ 米国のビジネスプレゼンテーション手法
- ・ 米国と世界の政治、経済、市場の動向



留学生県内就職支援事業（2百万円）【主要事業P32】

○外国人留学生の採用を希望する県内企業に対し、留学生との交流機会の創設やPR活動を支援することにより、海外展開を促進

- ・ 留学生採用支援セミナーの開催
留学生の意識や採用後の留意事項、在留資格の手続きなどを説明
- ・ 留学生と企業との意見交換会の開催
企業が留学生に対し、個別に事業や商品など企業の魅力や特色を説明

3 魅力発信の強化

幸福ふくい情報交流促進事業(23百万円) 【主要事業P3】

あらかじめ、
幸せだったらいいな。

幸せ度
いちばん
福井県

○幸福度日本一を連続して獲得している本県の魅力を全国に発信

首都圏においてラジオ放送を開始

- ・首都圏において「幸福度日本一」福井を発信する「幸せになるラジオ(仮称)」を配信

放送時期 29年4月～30年3月
月1回(30分程度)

放送内容 本県にゆかりのあるゲストと
司会によるトーク番組



スマートフォンアプリを
使えばいつでも視聴可能

福井しあわせ歳時記(仮称)を制作

- ・県民から募集した幸せを感じる行事や風習などを集めた「福井しあわせ歳時記(仮称)」を制作

歳時記の内容 1月から12月まで
日ごとに行事や風習
を掲載

【行事、風習の例】



金崎宮 花換まつり



ごぼう講



半夏生鯖

「ポストこしひかり」ブランド化事業 (140百万円) 【主要事業P36】

○30年度の本格生産・販売に向け、ロゴマークの制作やターゲットとする首都圏での販路確保、雑誌やテレビ等による効果的な情報発信を行い、ブランド化を強力に推進

平成29年度

- ・ロゴマーク、米袋の制作
- ・名称やロゴデザイン発表会、テスト販売開始イベントの実施
- ・首都圏の高級料理店や一流ホテルに米を提供してPR
- ・雑誌、テレビ、SNS等複数媒体を活用して情報発信



【ポストこしひかりに選ばれた品種「越南291号」】

【スケジュール】

3月	名称決定
4月	ロゴデザイン制作委託
5月	名称発表
9月	ロゴデザイン発表
10月	テスト販売開始



【テスト販売開始イベント(イメージ)】

平成30年度

- ・本格生産・販売
- ・消費者から日本一のブランド米として評価を獲得



幕末明治福井150年博(仮称)開催準備事業 (13百万円) 【主要事業P44】

歴史資源魅力創出事業 (14百万円) 【主要事業P44】

○平成30年の「幕末明治福井150年博(仮称)」の開催に向け、展示やゆかりの地の整備、PR・広報活動を実施

平成28年度

機運醸成イベント

- 開催場所
ハピテラス
- 開催時期
平成29年3月
- 内容
ステージイベント
幕末レストラン
ゆかりの品展示 等



平成29年度

150年博の準備

- メイン・地域会場等の整備
 - ・展示映像などメイン会場において使用する展示物を製作
 - ・市町が行うゆかりの地の整備等に対し補助
- PR、広報活動
 - ・マスコミ等へのPR営業活動
 - ・PR映像の作成



平成30年度

幕末明治福井150年博(仮称)

- メイン会場
福井市中心部
(福井市中央公園など)
- 開催期間
平成30年8月
- 地域会場
県、市町の博物館、美術館

「年縞」活用推進事業（648百万円）【主要事業P25】

年縞研究展示施設開館PR事業（2百万円）【主要事業P25】

- 水月湖「年縞」を教育・観光に活用するため、実物展示をメインとした年縞研究展示施設の建設工事を実施
- 年縞研究展示施設開館に向けて、年縞に関するシンポジウム等を開催し機運を醸成



【年縞研究展示施設の外観】



【年縞シンポジウム(イメージ)】

＜年縞研究展示施設の建設工事＞

- ・総事業費 約14億8千万円
- ・事業期間 平成27年度～平成30年度（開館予定）

＜開館に向けた機運の醸成＞

- ・年縞研究の第一人者等によるシンポジウム
- ・年縞研究展示施設の建設現場見学会や水月湖上における学習会
- ・立命館大学による県内中高校生を対象としたサマースクール

泰澄白山開山一千三百年記念事業（18百万円）【主要事業P46】

○泰澄大師が養老元年（717年）に白山を開山して1300年となることから、石川、岐阜両県や市町と協力し、泰澄大師と白山に関する観光、文化資源を活かした誘客活動を展開

- ・ 泰澄と白山信仰ゆかりの文化財特別公開とバスツアーを実施
- ・ 市町が行う白山眺望ポイントの整備を支援
- ・ 県立歴史博物館において白山開山1300年記念展を開催
- ・ 石川、岐阜両県と協力して首都圏や各県のイベントに共同出展



【越知山からの白山眺望】

国際工芸サミット(仮称)開催事業（8百万円）【主要事業P30】

○文化庁と北陸三県が協力し、工芸の魅力を世界に発信する「国際工芸サミット」の福井開催に向けたPR活動を実施

- ・ メイン会場は北陸3県持回り（H29富山県、H31福井県、H32石川県）
- ・ 福井開催に向けてバイヤーとのネットワークを拡大
- ・ 世界中の陶磁器や漆器などが一堂に出展される国内最大級の食器の祭典「テーブルウェアフェスティバル」に北陸三県が共同出展



【国際工芸サミットのイメージ】

福井・滋賀・京都観光連携事業（1百万円）【主要事業P46】

○福井、滋賀、京都の三府県が協力し、日本遺産や鉄道遺産、美味しい食などの魅力を活かした広域観光誘客を推進

■日本遺産を活用したPR

- ・三府県が行う観光キャンペーンにおいて相互PR
「海湖と歴史の若狭路キャンペーン」
(福井県 H29.7~11)
- 「水の文化ぐるっと博」(滋賀県 H29.10~H30.3)
- 「お茶の京都博」(京都府 H29.4~H30.3)
- ・周遊モデルルートの開発
高速道路定額乗り放題企画
日本遺産ぐるっとモバイルスタンプラリー

■鉄道遺産・自然資産活用PR

- ・観光素材の共同営業
鉄道遺産や体験メニューをまとめた素材集を作成し
旅行会社等へ共同営業を実施



御食国若狭と鯖街道



日本茶800年の歴史散歩



琵琶湖とその水辺景観

「御食国・和食の祭典」開催事業（1百万円）【主要事業P40】

○御食国「若狭国（福井）」のブランドを活かし、同じ御食国と呼ばれた淡路国（兵庫）、志摩国（三重）、都である京都と協力して「御食国・和食の祭典」を開催することにより、地域の食と文化、歴史を一体的に発信

「御食国・和食の祭典」の概要

■開催時期（予定）
平成29年11月

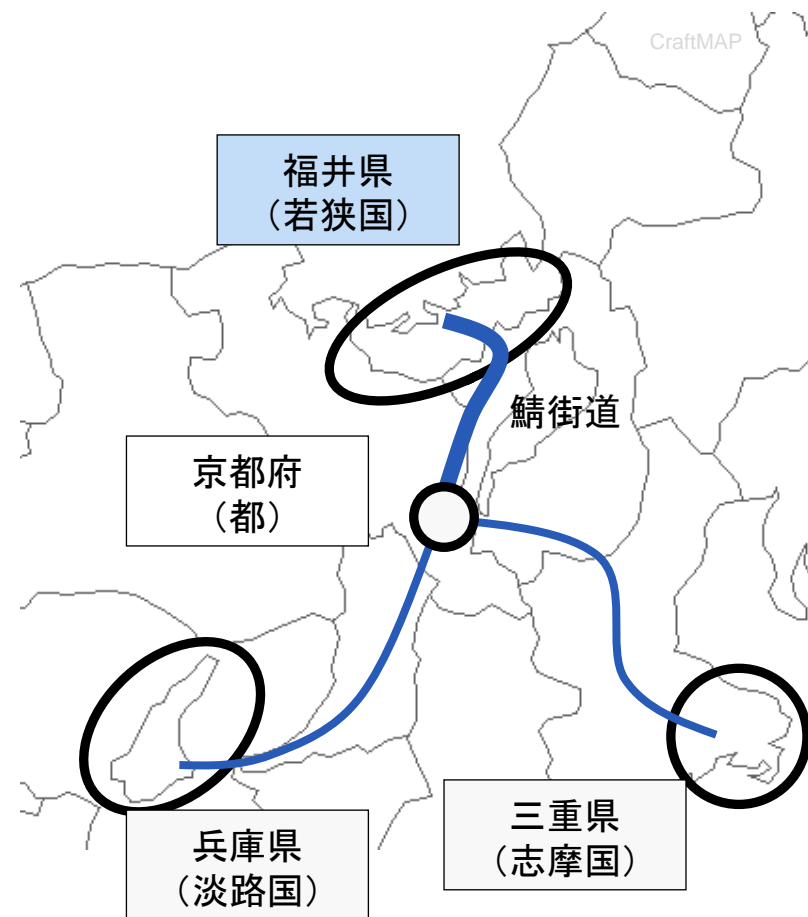
■開催場所（予定）
兵庫県洲本市
(30年度以降各県において開催予定)



【都に献上された福井の鯖】

■開催内容（予定）

- ・著名な料理人等を招いた講演会
パネルディスカッション
- ・4府県の食を味わう飲食、物販コーナー
- ・和食文化を体験するコーナー



英語力向上事業（107百万円）【主要事業P10】

○平成32年度から予定されている小学校英語教科化を全国に先駆けて平成30年度から実施するため、指導案や独自教材の作成などの準備を推進

＜小学校英語教科化に向けた対応＞

- ・ 小学校の英語教科化に向けた指導案および県独自の教材を作成
- ・ 教材の活用方法に関する研修を全小学校教員に実施
- ・ 語学番組などを活用し、教員の英語力を向上



平成30年度

【福井県】
小学校6年生
の英語教科化

平成31年度

【福井県】
小学校5年生
の英語教科化

平成32年度

【国】
英語教科化
(5、6年生)



【ALTによる授業】

教育総合研究所機能強化事業（21百万円）【主要事業P11】

○教育研究所の移転に伴い、研究・研修機能の充実・効率化を図るとともに、福井の教育を発信する教育博物館の開設などにより「教育総合研究所」として機能を強化

教育力発信強化

教育博物館の開設

福井の教育の歴史から現在の取り組みまでをテーマ別展示により発信



教科研究強化

サイエンスラボの設置

学校では実施困難な実験を研究所で行い、中学高校に配信し授業に活用



教員研修強化

研修の充実

課題解決型学習、ICT教育など、新たな課題に対応できる教員を育成



学校業務の効率化(138百万円)【主要事業P11】

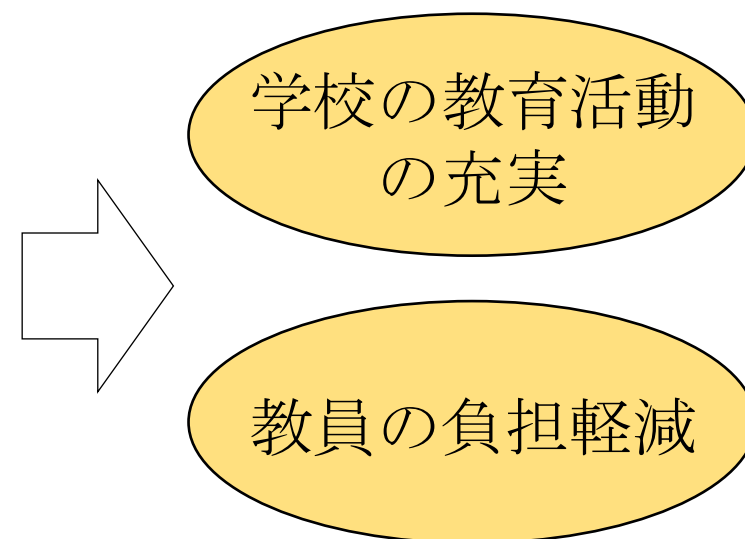
○退職教員などの配置による部活動指導体制の支援や成績処理など校務の効率化を進め、
教員の負担軽減を図り、学校の教育活動を充実

新たな部活動指導体制推進事業(39百万円)

- ◆単独で指導や引率ができる退職教員等の人材を新たに配置
- ◆専門的な技術指導ができる地域人材の配置

校務支援システム整備事業(99百万円)

- ◆各学校共通の校務支援システムを開発・導入し、通知表作成などの負担軽減



【部活動指導の様子】

宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)開催準備事業 (2百万円)

【主要事業P29】

- 平成31年度に宇宙技術および科学の国際シンポジウム (I S T S) を本県で開催するため、福井市と協力して受入体制を整備

愛媛・松山大会への出展

- ・29年度に開催される松山大会に出展し、次期開催県である本県の産業や観光などの魅力を大会参加者に紹介

準備委員会・実行委員会の開催

- ・大会開催に合わせて実施する地元主催の関連事業の内容を早期から検討し、I S T S 実行委員会へ提案

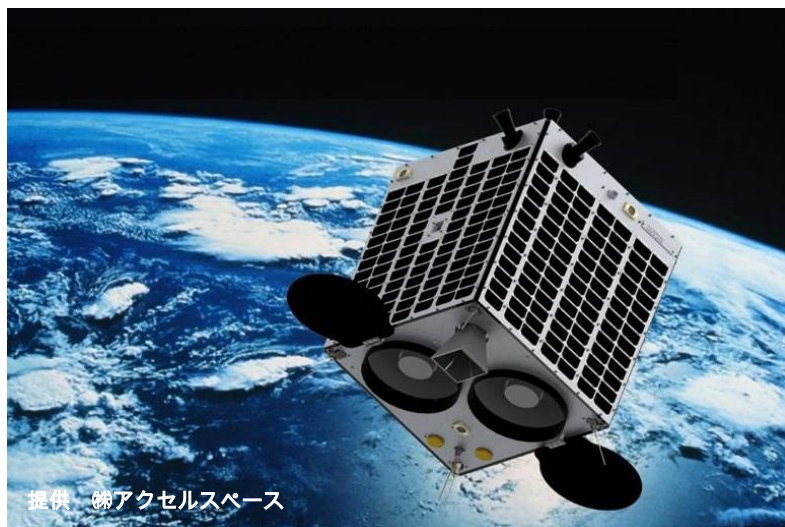
【委員会の開催時期】

準備委員会：平成29年4月～10月

実行委員会：平成29年10月～

【メンバー】 県、福井市、大学、関連団体 等

【内 容】 地元主催事業（宇宙産業振興、サイエンス教育、県民への啓発）
大会実施に必要な諸事業の検討



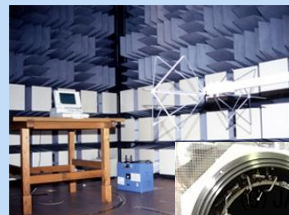
提供：株式会社アクセルスペース

宇宙産業拠点整備事業 (376百万円) 【主要事業P29】

○小型人工衛星を製造するために必要な試験設備を導入し、県内企業が衛星製造を受注できる環境を整備

小型人工衛星製造拠点の整備

- ・電波暗室
様々な電波が飛び交う宇宙環境下での衛星の通信性能などを測定
- ・熱真空試験機
宇宙空間の真空状態、温度環境における電子機器の動作を確認



電波暗室



(C) JAXA
熱真空試験機

将来の衛星製造を県内企業が受注



写真提供: 東京大学

ロボット研究開発拠点整備事業 (179百万円) 【主要事業P29】

○県内企業の生産現場へのロボット導入を促進するとともに、介護・福祉・医療分野、原子力関連など社会の課題を解決する新市場でのロボット開発を推進

ロボット研究開発拠点の整備

人と共同作業できるロボット

人の作業が再現できるロボット



県内企業の生産現場への
ロボット導入促進

例)
熟練工の技
を再現する
ロボット



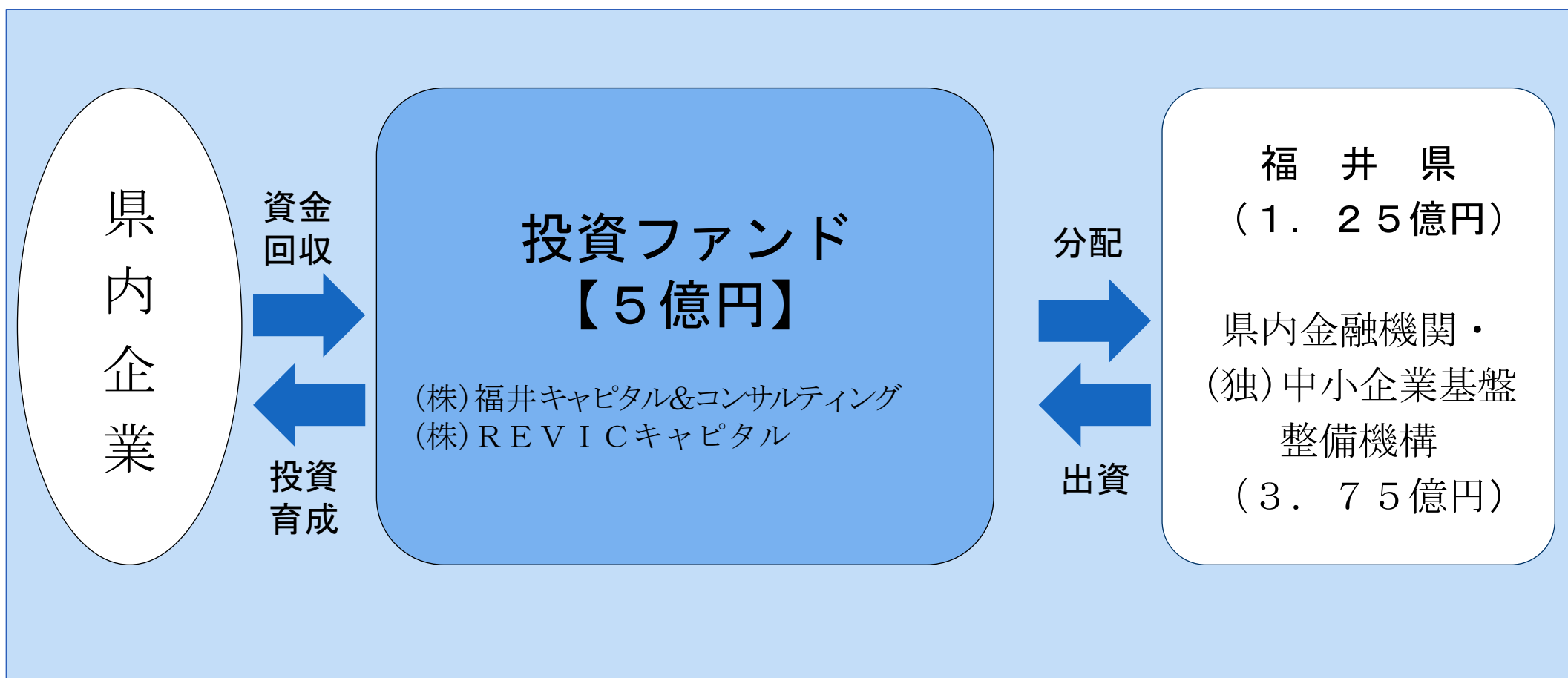
新市場のロボット開発支援
(介護・福祉・医療、原子力など)

例) AI 活用小型ロボット
・医療器具用
微細加工ロボット
・軽作業アシスト
スーツ



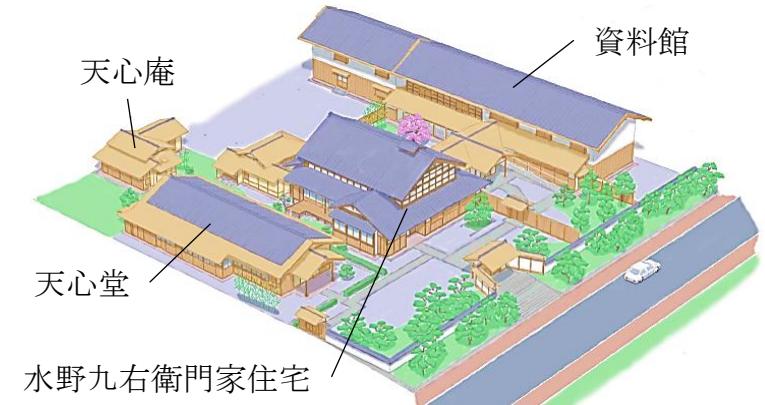
ステップアップ・ファンド創設事業（125百万円）【主要事業P33】

- 県内金融機関等とともに5億円の投資ファンドを創設し、出資とコンサルティングにより、県内企業の上場を後押し



越前古窯博物館開館・振興事業（16百万円）【主要事業P31】

○越前古窯博物館の開館記念式典や大規模茶会を開催することにより、越前焼をはじめとした伝統工芸のブランド力と産地の誘客力を強化



【越前古窯博物館】

・ 記念式典の開催

「越前古窯博物館」の開館を県内外に広くPRするための記念式典を開催

・ 越前焼の調査研究の実施

越前焼研究の第一人者である水野九右衛門氏の収集品（国登録有形文化財）の展示と歴史的、文化的な価値を向上するための調査研究を実施

・ 天心茶会（仮称）の開催

茶道文化を通じて福井の伝統工芸品の評価を高め、県外にも発信するため、全国から茶道愛好家が参加する「天心茶会（仮称）」を開催

「福井県産そば」産地競争力強化事業（11百万円）【主要事業P36】

○県産そばを「世界三大そば」として県内外に発信することにより、ブランド力を高め消費を拡大

- ・天日干しや雪室貯蔵を活用した「プレミアムブランドそば」を開発
- ・パリと首都圏の飲食店において県産そば粉を使用した「ガレットフェア」を開催



【ガレット】

ふくいワイン振興事業（140百万円）【主要事業P38】

○県産ワインの醸造を支援することにより、中山間地域の活性化と観光誘客を促進

- ・ワイナリー整備に対する補助金を創設
補助対象 農業生産法人等
補助率 国1／2 県1／5（市町1／10）
- ・担い手育成のための研修プログラムを策定

平成30年度

- ・ワインの醸造を学ぶ「ワインカレッジ」を開校予定



【ワイナリー(イメージ)】

園芸拠点施設整備事業 (376百万円) 【主要事業P37】

○薬草等を活用した新たなビジネスの実証・展示や園芸に関する体験・学習を行う施設を園芸研究センターに整備

平成29年度

- ・用地の取得、造成
- ・園芸LABOの実施設計
- ・薬草展示園の整備

平成30年度

- ・園芸LABOの整備
- ・展示ハウスの整備
- ・果樹園の整備



<ゲンノショウコ>



<ジュウヤク>



<モンケイ>

【薬草展示園】



【園芸LABO】



【園芸拠点施設イメージ】

新魚種養殖振興のための施設整備事業（水産学術産業拠点関連事業）

（80百万円）【主要事業P41】

- 新たな生産・加工技術の研究や資源管理、国際的な視野を持つ水産人材の育成を行う
水産学術産業拠点構想の一環として、新魚種の養殖振興に必要な施設を整備

マハタ種苗生産施設整備事業

- ・高級魚マハタの養殖用種苗を安定的に供給するため、種苗生産施設を整備

29年度	設計
30年度	建設



【マハタ】



【嶺南地域において養殖】

ふくいサーモン生産拡大事業

- ・福井生まれ福井育ちのトラウトサーモンの養殖生産を拡大するため、種苗生産施設等を整備

29年度	地下海水調査
30年度～	設計、建設等



【トラウトサーモン】



【県内各地にて養殖】

林業ビジネスの拠点整備 (172百万円) 【主要事業P42】

○林業の人材育成や流通・販売促進の拠点として、総合グリーンセンターの機能を強化

◆森林、林業、木材産業に関する研修を充実

- ・林業の担い手を養成（林業カレッジ）
- ・特用林産物生産者、自伐林家を対象とした研修
- ・製材所や工務店を対象とした研修

◆林産物の流通、販売を促進

- ・インターネットによる山菜などを全国販売するビジネスモデルの構築
- ・生産者向け相談窓口の設置等

◆研修充実のための施設整備を実施



【ふくい林業研修センター(仮称)】
林業研修館を改修



【研修室改修イメージ】



【研修イメージ】

子ども医療費助成事業（846百万円）【主要事業P6】

○平成30年度から、市町とともに中学校3年生までのすべての子どもを対象に、窓口無料化（自己負担分を除く）を実施するためのシステム改修を実施

【県助成制度概要】

	現 在	平成30年度～
助成対象	小学校3年生まで (各市町が独自に中学校3年生まで助成)	} 変更なし
所得制限	なし	
自己負担	就学前児童 なし 小学校1年生～ 医療機関毎に通院500円/月、 入院500円/日(月8日間まで)	
助成方法	医療機関の窓口で一旦、医療費を支払い、後日、 支払った医療費が保護者の口座に振り込まれる。 (自動償還払い) ※小学1年生以上は一部自己負担金あり	一部の自己負担を除き、医療機関の <u>窓口において医療費を支払う必要がない</u> 。 (窓口無料化) ※小学1年生以上は一部自己負担金あり

【窓口無料化に向けたスケジュール】

平成29年度 窓口無料化に向けたシステム改修および制度周知
平成30年度 窓口無料化の開始

ふくい健康の森リニューアル事業 (28百万円) 【主要事業P16】

○オープンから約20年が経過した「ふくい健康の森」の屋外施設の一部をリニューアルし、若者など様々な世代が楽しみ、より多くの地域から来て憩う施設に再整備

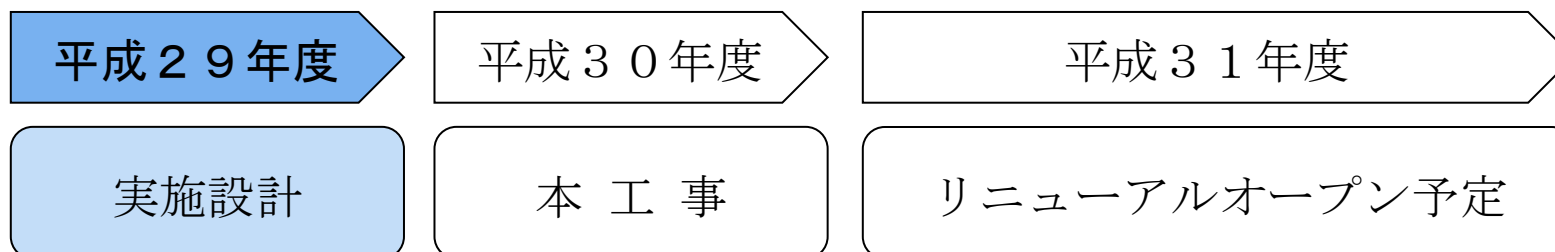
【整備内容】

- ・ 県内初の本格的 スケートパーク
- ・ 屋外イベントが可能な 大型屋根
- ・ 足腰の負担が少ない ウォーキングコース
- ・ 憩いの場として利用できる 芝生スペース
- ・ 幅広い世代が楽しめる ファミリー健康広場
- ・ 全国大会も可能な マレットゴルフコース (増設)



[スケートパーク(イメージ)]

【スケジュール】



県立病院ハイブリッド手術室整備事業（775百万円）【主要事業P17】

○外科手術と内科的カテーテル治療（血管内治療）を同時に実施できる「ハイブリッド手術室」の整備により、迅速で体に優しく、感染リスクの低い安全な治療を実施

※平成28年4月に開設した「脳心臓血管センター」（循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科）の充実



県立病院こころの医療センターの再編（72百万円）【主要事業P17】

○こころの医療センターの入院患者数の減少に伴い1病棟を削減するとともに、精神単科病院では対応が困難な精神と身体の合併症患者の増加に対応する「精神科救急・合併症病棟」を開設

・高齢化の進展に伴い、精神と身体の合併症患者が増加



精神科救急・合併症病棟（東4病棟）の開設
（平成30年1月～）

・1年以上の長期入院患者が減少



削減した余剰病床（西2病棟）のスペースを活用し、
・リハビリテーション室を設置し、早期退院を促進
・身近な地域で暮らせるよう、訪問看護を強化

（現状）5病棟 279床 ⇒ （再編後）4病棟 198床

福井しあわせ元気国体・大会開催準備事業（1,104百万円）【主要事業P53】

競技力向上対策事業（1,306百万円）【主要事業P53】

○福井しあわせ元気国体・大会の開催に向けた準備を推進

- ・市町が実施する競技別プレ大会を支援（14市町、36種目※）
- ・宿泊、輸送の実施計画、開・閉会式の式典実施要項を作成
- ・国体と障害者スポーツ大会の融合を推進 など

※29年度に開催されるプレ大会は、県が主催するシンクロ（金沢市内）を含めると37種目



【同一会場で健常者のバスケと車椅子バスケを開催】

○福井国体での優勝に向け、競技力向上対策をさらに充実

- ・人の確保 岩手国体の結果を踏まえ有力選手獲得人数の拡大
ふるさと選手に愛媛国体からの出場を呼びかけ、地元選手との連携を強化
- ・技の向上 県外遠征回数を増やし、強豪チームとの接戦を勝ち抜く力を強化
岩手国体で入賞できなかった少年競技に、定期的に優秀指導者を招聘し強化

<国体と障害者スポーツ大会の融合（平成30年度）>

- ・国体と障害者スポーツ大会の略称を「国体・障スポ」に決定し融合をPR
- ・国体会期中に障スポの競技（車椅子バスケ、車いすテニス）を実施
- ・国体・障スポの開催期間を含む県民スポーツ交流期間を設定

どれも
全国初の
施策です！



美しいみち・かわづくり事業 (450百万円) 【主要事業P54】

○福井しあわせ元気国体・大会の開催に向けて、歩道の修繕や河川の伐木など、来県者に好印象を与える美しい道路・河川環境を整備

美しいみちづくり事業

- ・ 競技会場やアクセス道路周辺において、根上がりにより歩道が損傷している箇所を修繕



- ・ 車道の舗装補修、車歩道の除草、街路樹の剪定等を実施

美しいかわづくり事業

- ・ 主要な駅やインターチェンジ、観光地から競技会場までのアクセス道路や鉄道の車窓から見える河川において、景観を阻害している雑木を伐採



- ・ 堤防の草刈り等を実施

宿泊施設バリアフリー整備事業 (82百万円) 【主要事業P55】

○福井しあわせ元気大会の開催に向けて、県内宿泊施設のバリアフリー化を支援

バリアフリー化を支援する補助制度を創設

- ・対象施設
福井しあわせ元気大会時に選手などが宿泊するホテル、旅館
- ・補助率
県 1 / 2

整備内容	補助基準額 (事業費の上限)
段差解消	3,000千円
自動ドア等	1,500千円
障害者用トイレ設置	4,000千円
障害者用駐車場設置	300千円
点字ブロック敷設	1,500千円
バリアフリー客室設置	10,000千円



【多目的トイレ】



【段差解消】